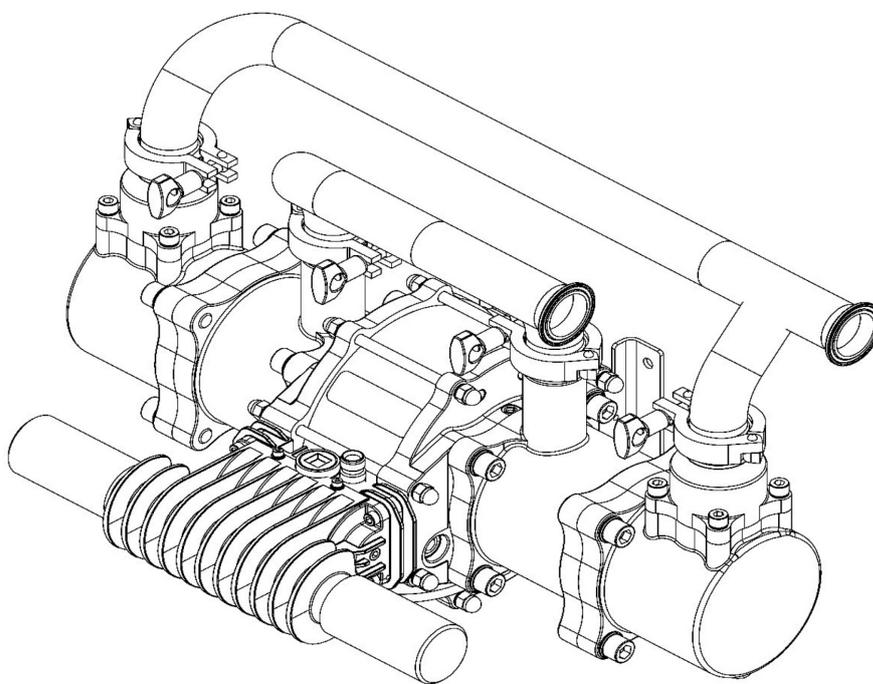


Maple 30/3 エア駆動ポンプ

取扱説明書



■モデル 104010

目次

安全注意事項.....	2
1. 概要.....	4
1.1 概要.....	4
1.2 動作原理.....	4
2. Maple 30/3 ポンプ仕様.....	5
3. Maple 30/3 外形及び取り付け部の寸法.....	6
4. ポンプ据え付け.....	7
5. Maple 30/3 ポンプ Assy. パーツリスト&分解図.....	8
6. 193705 エアモータ Assy. パーツリスト&分解図.....	10
7. ITEM67 : 194293 エアモータ ピストン Assy.	12
8. ITEM40 : 0115-010102 エアバルブ Assy.....	13
9. ITEM28 : 194243 フルイド ピストン Assy.	14
10. トラブルシューティング.....	15
11. スペアキット.....	16
12. 保守スケジュール.....	17
13. ベローズ交換.....	18
14. アクセサリー.....	19

製品の説明

104010-Maple30 エア駆動ポンプ

この機器は、溶剤系および水系塗料用ポンプとして最適な構造となっています。

製造元：Binks Ringwood Road, Bournemouth, BH11 9LH. UK



安全注意事項

実際にこの装置を使う前に、以下の説明および安全上の注意事項をよく読み、遵守してください。

この製品は高度な技術水準に基づいて組み立てられており、高い信頼性を誇ります。しかし、十分な訓練を受けていない作業員が不適切な操作をしたり、本来の目的以外に使ったりすると、事故につながる恐れがあります。

使用国・地域における、安全な運用や事故防止に関する法令や規制は常に遵守してください。

本製品の据え付け、運用、点検修理、洗浄に当たっては、国際法規、使用国・地域における法令や規制、使用企業の内規を遵守しなければなりません。

本製品の運用責任者は、この操作マニュアルを熟読し、内容をすべて把握、遵守しお使いください。

操作マニュアルの指示に従わなかった結果、何らかの損害が発生しても、Binks PCE は責任を負いません。

なお、この操作マニュアルの内容(取り扱い規則、図面などを含む)の一部または全部を、商用目的で複製、配布、使用するためには、Binks PCE の許可が必要です。

技術的な改良のため、図面や仕様の記載を予告なく変更することがあります。

据付、運転、保守・点検の前に必ずこの取扱説明書と付属書類をすべて熟読し、正しくご使用ください。

機器の知識、安全の情報そして注意事項の機器の知識、安全の情報そして注意事項のすべてについて熟読してからご使用ください。



危険

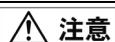
この表示を無視して、誤った取扱をすると、死亡や重傷など損害を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取扱をすると、中程度の傷害や軽傷など損害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

なお、注意に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。安全に関する重要な事項を記載していますので必ず守ってください。



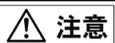
注意

運搬・据え付けに関する注意

- 製品の重量に応じて、正しい方法で運搬してください。げがの原因になります。
- 制限以上の多段積みはしないでください。
- 据付けは、重量に耐える所に、取扱説明書に従って取付けてください。
- 損傷、部品が欠けている場合は運転をしないでください。
- 製品の上に乗ったり、重いものを乗せないでください。
- 下記の環境条件でご使用ください

周囲温度	-10 °C ~ +50 °C (凍結のないこと)
周囲湿度	90% RH 以下 (結露のないこと)
保存温度	* -20 °C ~ +65 °C
雰囲気	屋内、腐食性ガス・引火性ガス・オイル・ミスト・塵埃のないこと。
標高・振動	海拔 1000 m 以下・5.9 m/S ² {0.6 G} 以下 (JIS C 0911 準拠)

*輸送時などの短時間に適用できる温度です。



注意

高圧/静電気に関する注意

機器の取扱いは、使い方が適切でないと死傷事故につながる恐れがあります。

据え付けや保守は、十分な訓練を受けた作業員が実施してください。

1. 高圧機器を使う作業の際は、ポンプ、液圧装置、圧縮エアモータを十分に離してください。
2. システムから受ける圧力を緩和する措置が必要です。圧力がシステム内に閉じ込められている可能性があるため、残存圧力がないか、システム全体を点検してください。高圧機器を停止の際は内部残圧を抜くこと。
3. 付属品を取り外す際は特に注意が必要です。
4. ホースに裂け目が見つかった場合は直ちに交換してください。
5. 漏れが見つかったり、指でふさいだり、粘着テープなどで応急措置をして使ったりはしないでください。さらに、静電気の発生を防ぐため、運転に先立ち、適切に接地されているか確認してください。

⚠ 注意 機器の操作に関する注意

機器の使い方を誤ると、破裂や動作異常により死傷事故につながる恐れがあります。

- 訓練を受けた専門技術者以外には使わせないでください。
- 操作マニュアル、機器に取り付けられたタグやラベルをよく読んでください。
- 本来の目的以外には使わないでください。
- 改造はせず、部品や付属品は Binks の純正品を使ってください。
- 定期点検を実施し、劣化、破損した部品は直ちに交換してください。
- 最大動作圧力(本体に表示、または技術データとして記載)を超えて運用しないでください。
- 輸送する塗料や溶剤が直接接触する部品は、その性質に応じたものを選んでください(各操作マニュアルの技術データを参照)。また、溶剤の製造元が公表している注意事項にも従う必要があります。
- ホースは、人その他が通行する区画を避け、とがったものや可動部品、熱源から離して敷設してください。82℃以上あるいは-40℃以下にならないようにしてください。
- 機器を操作する際は耳栓をはめて行ってください。
- 加圧した状態のまま機器を持ち上げないでください。
- 火気や電気の取り扱いに関する、使用国・地域の規制に従ってください。

⚠ 注意 引火、爆発、電気ショックに関する注意

接地や換気が不十分であったり、裸火や火花放電にさらされる状態に置いたりすると、引火、爆発、電気ショックの危険があります。

この操作マニュアルに従って設置、使用する場合、電動ポンプは危険地域で使用する際は属する区画で使うようお勧めします(ATEX Category 2)。

- 機器の据え付け、操作、保守修理は、必要な訓練を受けた作業員が、この操作マニュアルの内容を完全に把握した上で実施してください。
- 本製品その他、スプレー区画内にある電導性の機器や部品は、確実に接地してください。
- モーター回転中はカバーを外さないでください。
- 使用中に静電気放電が見られた場合は、直ちに使用を中止し、問題を取り除くまでは決して使わないでください。
- 十分に換気を行い、塗料や溶剤から出る引火性気体が滞留しないようにしてください。
- ポンプの周囲に、溶剤、布切れ、ガソリンなどのごみを残したままにしないでください。
- ポンプ周辺の機器はすべて、絶縁した状態にしてください。
- 裸火、種火の類は使用しないでください。

⚠ 注意 高温に関する注意

- 保守点検は十分に温度が下がってから実施してください。
- 引火性物質やごみを機器のそばに置いたままにしないでください。

⚠ 注意 加圧した状態の機器に関する注意

ガン／バルブからばかりでなく、裂け目が生じたホースや破裂した部品からも液体が噴出し、目に入ったり皮膚に触れたりする恐れがあります。

- ガン／バルブの先を人に向けないでください。
- 裂け目があっても、指その他の体の一部、手袋や布切れなどで塞ごうとしないでください。
- スプレー／吐出を停止する、機器を洗浄／点検／修理するなど、圧力を下げる必要がある場合は、内部残圧を完全に抜いてください。
- ホース等の結合箇所がしっかり締めつけられているか、運転前に点検してください。
- ホースやチューブおよびその結合箇所は定期点検し、裂け目や破損、緩みがある場合は直ちに交換してください。

⚠ 注意 有機液体を輸送する場合の注意

有機液体から発生する気体により、目に入る、皮膚に触れる、吸い込む、飲み込むなどにより、死傷事故に到る恐れがあります。

- 輸送する液体の性質や危険性をあらかじめ調べておいてください。
- 危険な液体はそれに適した容器に入れ、廃棄する際は当該国・地域の法令や規制に従ってください。
- 製造元が推奨する保護用眼鏡、手袋、保護衣、防毒マスクを着用してください。

⚠ 注意 可動部品に関する注意

駆動機構などの可動部品により、指を挟まれたり切断されたりする危険があります。

- 可動部品の周囲を整頓してからポンプを作動してください。
- 動作中は駆動部のカバーを外さないでください。

1. 概要

1.1 概要

このポンプは、高品質の材料を用い高度な表面処理を施すことにより、製品寿命を長くするように設計されました。

「メイプル ポンプ」は水平ピストン型のポンプで、溶剤性塗料、水性塗料、溶剤その他の液体をポンピングすることができます。

φ180×50mm ストロークのエアモータで左右 2 組のフルイドセクションを駆動することにより、サイクル当たり 0.75 リットルの吐出能力を有します。

省エネルギー型エアモータを採用し、各種のスマート電動ポンプの開発で培われた、低剪断液流技術を取り入れています。

「メイプルポンプ」は、ピストンの往復運動を制御するために、精密な研磨鋼スプールとスリーブエアバルブを用いています。

独自のエアバルブ（特許出願中）により、メイン/パイロット エアバルブに正方向の磁気戻り止めを施し、失速状態による中間停止の可能性をなくしました。

エアモータにはさらに、Binks Low Ice 急速排気技術を取り入れて、サイクル速度を上げたときでも、エアバルブが凍結による停止状態にならないようにしています。

水平ピストン型、双ピストン ロッド設計により、各ストロークの推力が一様であるため、塗料にかかる圧力の均衡を保ち、脈動を最小限に抑えています。

エアポンプには、排気雑音を低減するため、排気マフラーを一对取り付けてあります。排気管システムに接続するためのアダプターキットも付属品(別売)で用意しています。

1.2 動作原理

アセンブリは次の部品から成ります。

- 中央エア ピストンと切り替えバルブ
- 急速排気/マフラー アセンブリ ×2
- ダイナミック チャンバーおよびフルイドピストン ×2
- サクション サニタリーパイプ ×1
- 吐出サニタリーパイプ ×1
- ブラケット

ポンプには、水平に向き合う 2 つの排気ピストンがあり、往復運動する共通のエアモータのピストンに連結されています。エアで駆動されるピストンが、その往復行程の端にある、パイロット エア制御バルブを駆動します。これがパイロットエアを生成し、スプールバルブを往復させることにより、反対向きのストロークが生み出されます。

エアパイロットバルブにはばねが使われていません。磁力によって動作し、メインピストンに供給されるエアによってリセットされて、磁気戻り止めによりその位置にとどまります。メインスプールバルブはエア制御で、排出口が 2 つあります。パイロットバルブ、メインスプールバルブとも、簡単に取り外し可能です。

外側にはエアパイロットホースがありません。パイロットエアと排気口は内側にあり、スプールバルブとパイロットバルブを取り付けるだけで運転します。

エアシリンダーから出る排気は、独立した 2 系統の急速排気バルブに振り分けられ、ピストン切替え時間を最小限に抑えます。

接液部ポンプは 4 ボール式となっており、フルイドセクション/吐出行程を安定することができます。

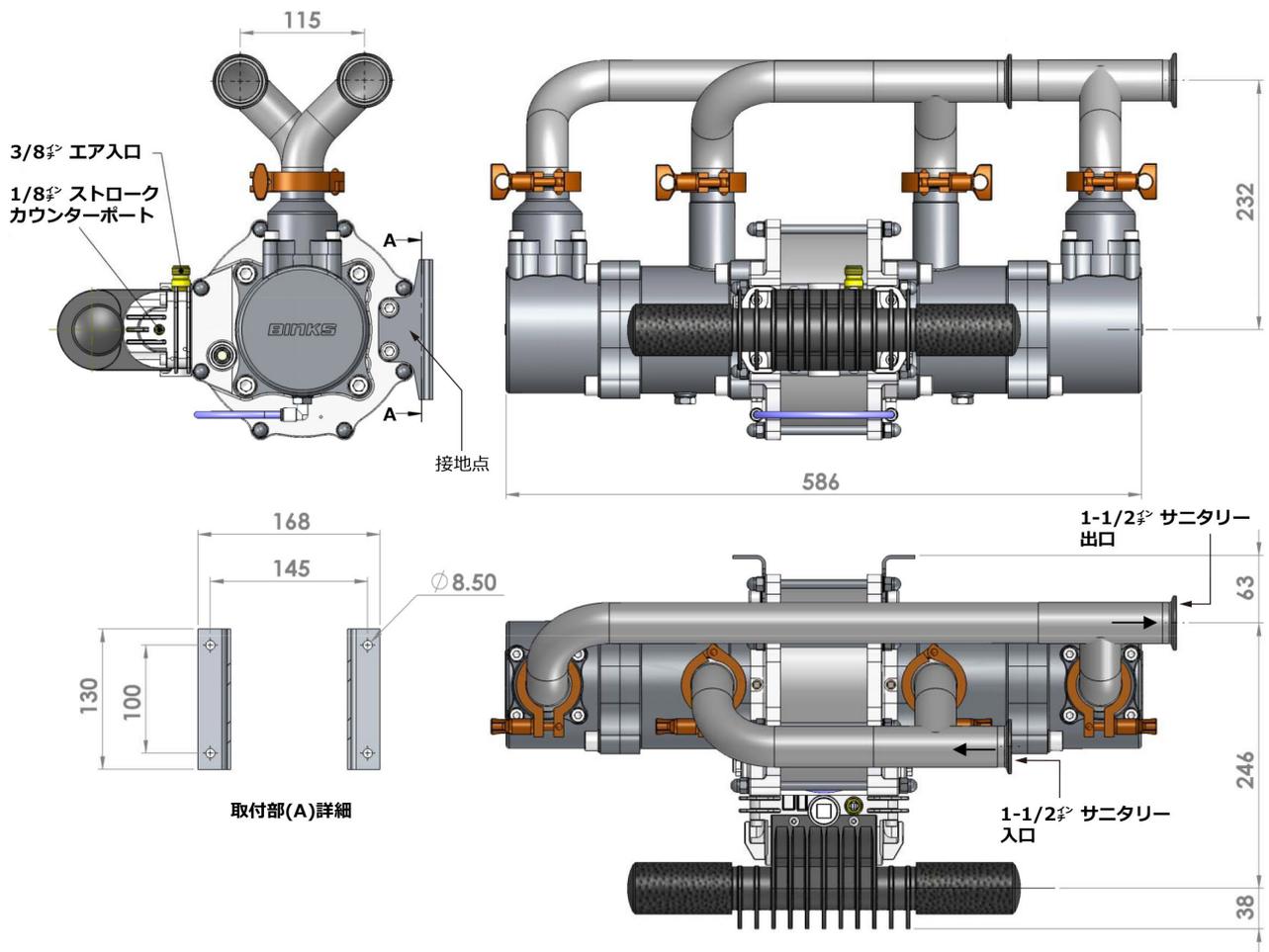
ダイナミック チャンバー内にあるベローズは、接続ロッドの液漏れ防止も兼ねます。

圧力チャンバー内の圧力を保持するためにピストンシールを用いていますが、ピストンシールが摩耗しても、チャンバー内に液体が留まっており、外部へは漏れない構造となっています。

2. Maple 30/3 ポンプ仕様

Maple 30/3 仕様	
型 式	104010
ポンプストローク	50 mm
ポンプ圧力比	3 : 1
最大使用エア圧力	0.7 MPa
最大吐出圧力	2.1 MPa
1 サイクル当たりの流量	0.75 ℓ
吐出量 (@60 サイクル/分)	45 ℓ/分
連続推奨最大サイクル	20 サイクル/分
間欠推奨最大サイクル	40 サイクル/分
液体入口継手	1-1/2 ㍉ サニタリー継手
液体出口継手	1-1/2 ㍉ サニタリー継手
エア入口ネジサイズ	3/8 ㍉ BSPP/NPSM
1 サイクル当たりのエア消費量	9.5 N ℓ @0.31 MPa 18.5 N ℓ @0.62 MPa
エア消費量 (15 サイクル/分 0.6MPa)	283 N ℓ/分
エア消費量 (30 サイクル/分 0.6MPa)	566 N ℓ/分
最大ポンプ入圧力	0.2 MPa サククション部に逆流防止弁（チェック弁付パイプなど）を取り付ける際は、圧力を逃がす機器（リリーフ弁など）の追加をご検討ください。吸い込み圧力が0.2 MPa以上になるとベローズに問題が発生する恐れがあります。
圧縮エア品質等級ISO 8573.1 等級 3.3.2 (#注意事項を参照)	汚れ : 5 ミクロン 最低圧力露点 -20°C@0.7MPa (940ppm) 最大油分濃度 : 0.1mg/m ³ ※エアフィルターやマイクロミストセパレータを取り付け、塵埃や油水分を除去したエアを供給してください。
総重量	35 kg
# 注意事項 : 等級3.4.2の圧縮エア品質（冷却乾燥-最低圧力露点 +3°C@0.7MPa）も使用可能。 15 サイクル/分以上で使用する場合は、オプションのヘビーデューティ マフラー192821 またはパイプ集中排気システムの使用をお勧めします。	

3. Maple 30/3 外形及び取り付け部の寸法



4. ポンプ据え付け

1. ポンプのは据え付け位置、保守や目視確認、定期点検がしやすい適切な高さ（但し塗料容器のふたよりも下）とし、動かないよう確実に固定してください。
2. 壁面取付け用のブラケットが同梱されています。
3. ポンプ用には排気消音器キットがあります。マフラーを通してじかに排気するのではなく、ポンプから離れた場所に、パイプを通して排気したい場合にお使いください。
4. ポンプ取り付けフレームは、床、壁面に固定し、接地を確実に行ってください。
5. 適切なホース（動作圧力 2 MPa）を吸入口／排出口に取り付けます（38 mm NB 吸入/排出ホースなど）。
6. 適切な 3/8 NB エアホース、1/2 圧力フィルター レギュレータを、エアモータに接続します（フィルターは 1000 リットル/分以上の等級）。
7. 初期組付け時や修理の際には、エア ピストン O-リングには、グリス等の潤滑剤を使用していますので、新たにオイラー等を取り付け、潤滑剤の供給は避けてください。
8. ポンプの速度を低サイクルに設定して起動し、液体からエアを抜いてください。
エア漏れ、塗料漏れがないか点検します。
9. 必要な塗料量に合わせてサイクルを調整し、システム背圧レギュレータとポンプ エア圧力を調整して、必要な液圧になるようにします。
10. 背圧レギュレータは、塗装システムの戻りに取付けます。
背圧レギュレータは、(塗料の使い方に応じて) 必要とされるシステム流量の変化に反応して、塗料容器に戻る塗料の流量を調整します。
これにより設定圧力を適切に保っています。
11. システム内の塗料をエアで押し出す場合、エア圧力は 0.2 MPa を超えないこと。

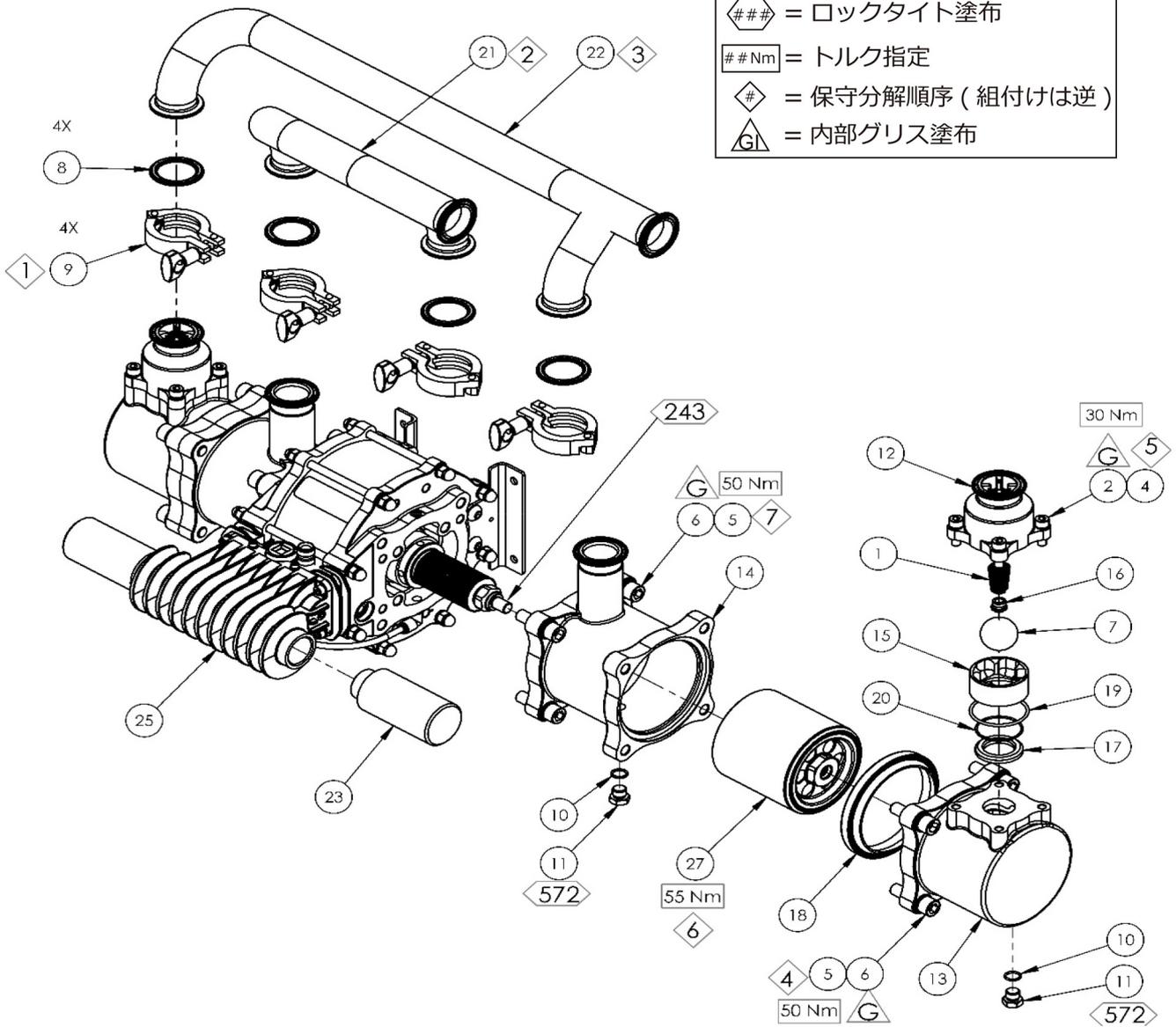
5. Maple 30/3 ポンプ Assy. パーツリスト&分解図

パーツリスト

パーツリスト：メイプル 30/3 ポンプ アッセンブリ				
Item No	部品番号	名称	数量	備考
1	160513	スプリング	2	①②
2	164472	M8 x 25 丸頭ネジ	8	
3	164838	リベット、No 2 x 4.75	2	
4	165108	M8 スプリングワッシャー	8	
5	165137	M12 スプリングワッシャー	16	
6	165960	M12 x 40 丸頭ネジ	16	
7	171788	Φ1-3/8 ㊦ ボール	2	②
8	192008	サニタリーガasket、1.5	4	①②#
9	192009	サニタリークランプ、1 & 1-1/2 ㊦	4	①②#
10	192505	O-リング、Φ12.42 x 1.78	4	
11	192551	プラグ、1/4 BSP	4	
12	192595	アウトレットチェック	2	
13	192596	アウトレットシリンダー	2	
14	192597	インレットシリンダー	2	
15	192626	アウトレットケーシング	2	
16	192629	インレットスプリング押さえ	2	②
17	192632	シート	2	②
18	194237	ピストンシール	2	①②#
19	192647	O-リング、Φ50.5 x 2.62	2	②
20	192648	O-リング、Φ41.0 x Φ1.78	2	②
21	192775	インレットマニホールド	1	
22	192776	アウトレットマニホールド	1	
23	192777	1 ㊦ マフラー	2	
23	192821	ヘビーデューティーマフラー、1 ㊦	2	104010-LS
24	192816	ピンクスネームプレート	1	
25	193705	エアモータ Assy.	1	
26	193775	Maple30 ラベル	1	
27	194243	Φ100 ピストン Assy.	2	

Maple30/3 ポンプ本体 分解図

記号表示	
	= グリス塗布
	= ロックタイト塗布
	= トルク指定
	= 保守分解順序 (組付けは逆)
	= 内部グリス塗布



6. 193705 エアモータ Assy. パーツリスト&分解図

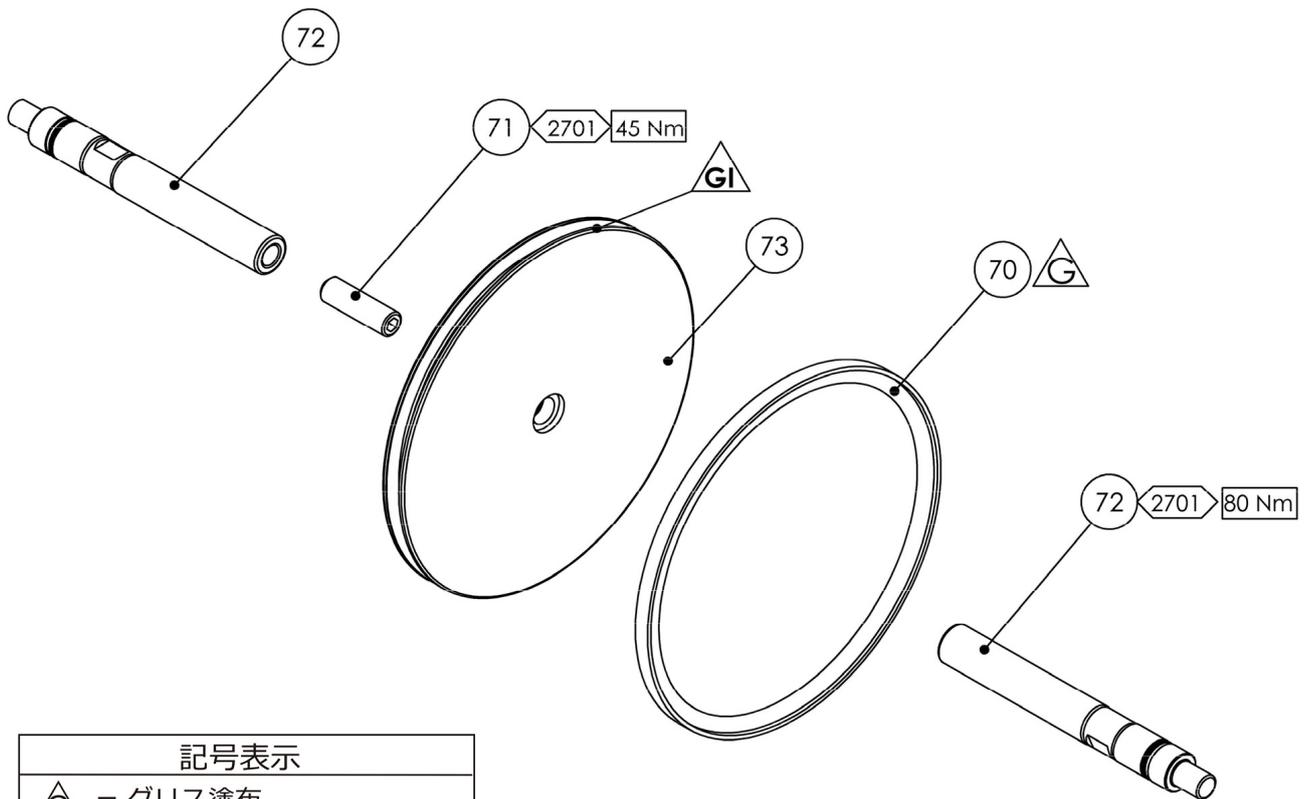
エアモータ Assy. パーツリスト

パーツリスト : エアモータ アッセンブリ				
Item No	部品番号	名称	数量	備考
40	0115-010102	エアバルブ アッセンブリ	1	④ #
41	161992	O-リング Φ117.5 x 2.62	2	⑤
42	161993	O-リング Φ20.35 x 1.78	2	⑤
43	161994	O-リング Φ4.47 x 1.78	4	⑤
44	161995	O-リング Φ19.5 x 3.00	2	⑤
45	162703	シャフトシール	2	⑤
46	162704	シャフトベアリング	2	⑤
47	163920	M6 x 30 丸頭ネジ	4	
48	165108	M8 スプリングワッシャー	16	
49	165528	M4 x 16 丸頭ボルト	4	
50	165963	M8 ドームナット	16	
51	165970	M4 平ワッシャー	4	
52	165971	Φ4 スプリングワッシャー	4	
53	177038	M10 x 12 丸頭ボルト	4	
54	192374	リテイニングナット	2	
55	192579	ベローズ	2	② #
56	192757	メーブルシリンダー	1	
57	194599	エンドプレート	2	
58	192761	シリンダースタッド	6	
59	192762	シリンダースタッドロング	2	
60	192763	ベローズスペーサー	2	
61	192764	ポンプブラケット	2	
62	0115-010037	パイロットスプール Assy.	2	④
63	192799	ベントプラグ	2	
64	192812	排気アダプター	1	
65	192814	ポンプブラケット	1	⑤
66	192815	6 mm x 1/8R エルボ	2	
67	194293	エアモータ ピストン Assy.	1	

7. ITEM67 : 194293 エアモータ ピストン Assy.

パーツリスト & 分解図

Item67 : 194293 エアモータ ピストン アッセンブリ				
Item No	部品番号	名称	数量	備考
70	162702	エアモータ ピストンシール	1	㊸
71	165964	M12 x 40 連結ネジ	1	
72	192759	ピストンシャフト	2	
73	192760	ピストン	1	



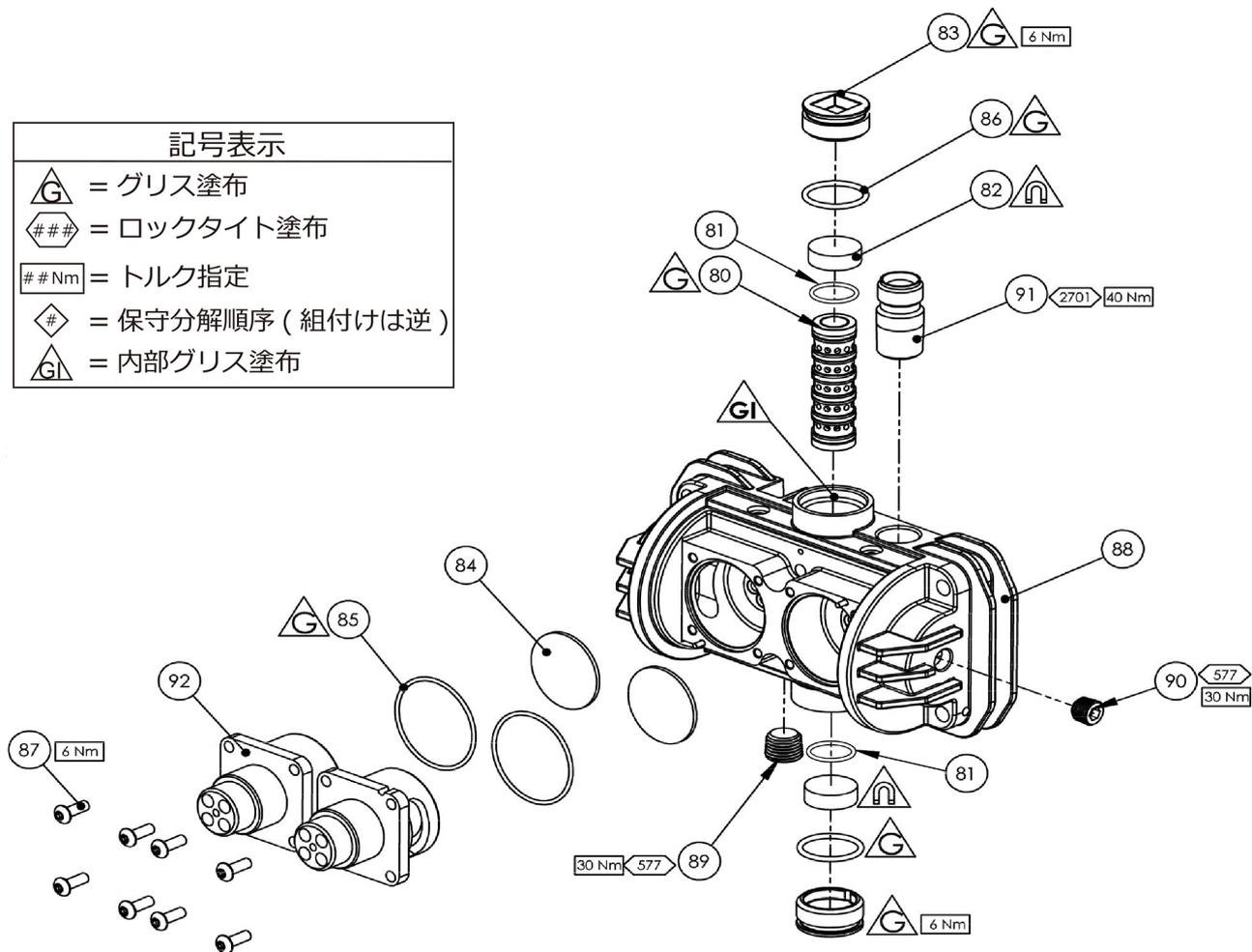
記号表示	
	= グリス塗布
	= ロックタイト塗布
	= トルク指定
	= 保守分解順序 (組付けは逆)
	= 内部グリス塗布

8. ITEM40 : 0115-010102 エアバルブ Assy.

パーツリスト & 分解図

Item40 : 0115-010102 エアバルブ アッセンブリ				
Item No	部品番号	名称	数量	備考
80	0115-010015	スプール・スリーブ Assy.	1	③
	162789	スプール・スリーブ O-リング	6	表示ナシ
81	0115-010016	バンパー	2	④
82	0115-010017	マグネット	2	④
83	0115-010018	バルブブロックエンドキャップ	2	
84	0115-010020	ダイアフラム	2	③
85	0115-010021	O-リング Φ1.5×36	2	③
86	0115-010049	O-リング Φ2×20	2	④
87	0115-010073	M4×12 ネジ	8	
88	0115-010097	バルブブロック	1	
89	0115-010103	パイププラグ、1/4 BSPT	1	
90	0115-010107	パイププラグ、1/8 BSPT	1	
91	180584	ユニバーサル継手、3/8	1	
92	192813	クイック エキゾースト バルブケージ	2	

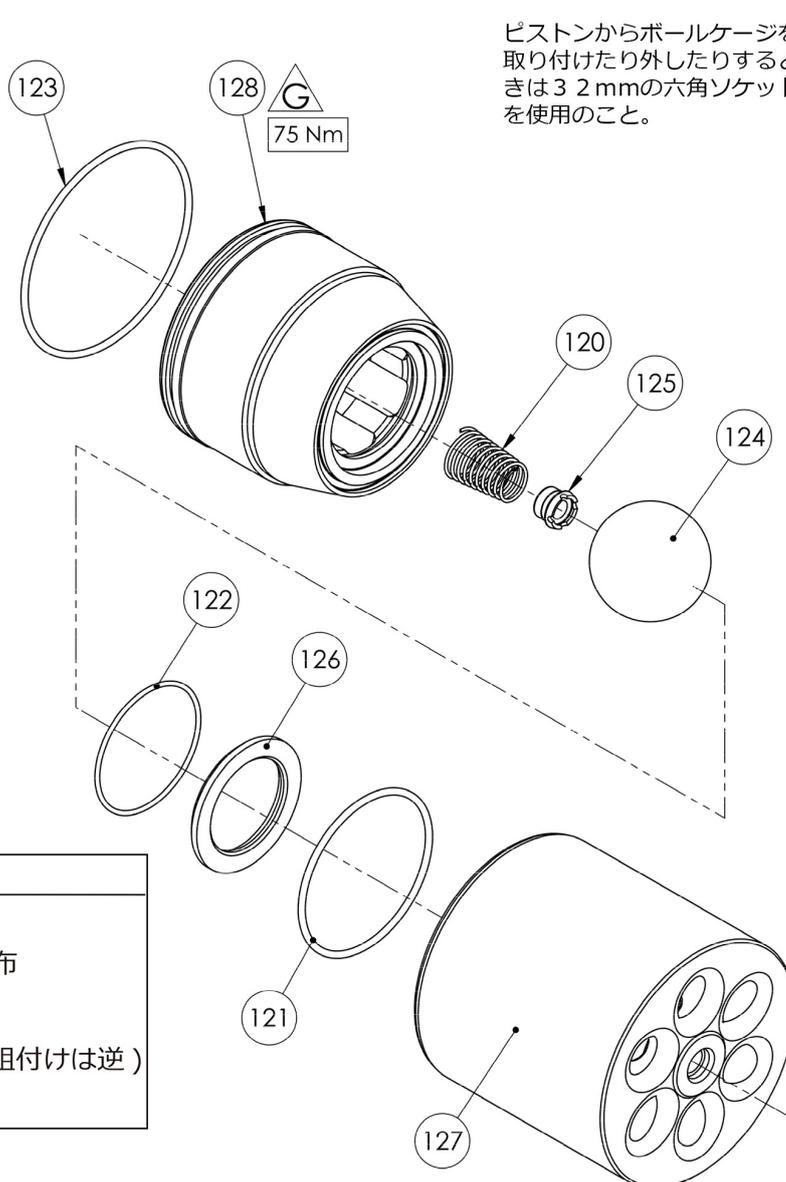
記号表示	
	= グリス塗布
	= ロックタイト塗布
	= トルク指定
	= 保守分解順序 (組付けは逆)
	= 内部グリス塗布



9. ITEM28 : 194243 フルイド ピストン Assy.

パーツリスト & 分解図

Item28 : 194243 フルイドピストン アッセンブリ				
Item No	部品番号	名称	数量	備考
120	160513	ピストンボールチェック スプリング	1	①②
121	162805	O-リング、Φ63.17 x 2.62	1	①②
122	162807	O-リング、Φ50.52 x 1.78	1	①②
123	162854	O-リング、Φ82.22 x 2.62	1	①②
124	171784	ボール、1-3/4 号	1	②
125	192629	インレットスプリング押え	1	①②
126	192631	ピストンシート	1	②
127	193626	Φ100 フルイドピストン	1	
128	193627	ボールケース	1	



記号表示	
	= グリス塗布
	= ロックタイト塗布
	= トルク指定
	= 保守分解順序 (組付けは逆)
	= 内部グリス塗布

10. トラブルシューティング

問題点	原因	処理
ポンプが液体を吸わない。	<ul style="list-style-type: none"> ● 吸入ホース/連結管にエアが入り込んでいる。 ● ピストンシールの摩耗している。 ● ボールチェックが正しく取り付けられていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ● シールやホース連結部を確認する。 ● ピストンシールを交換する。 ● ボールとシートを点検、洗浄、交換する。
ポンプが稼働しない (液体を送らない)	<ul style="list-style-type: none"> ● エア/液体の供給がない。 ● エアピストンシールが摩耗している。 ● パイロットバルブアセンブリが作動しない。 ● メインエアバルブが作動しない。 ● クイックエキゾーストダイアフラムが破損している。 ● ボールチェックが正しく取り付けられていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ● エア/液体供給用のボールバルブ及びホースを点検する。 ● ピストンシールを交換する。 ● パイロットバルブを切り替え/入れ替えて、動作しないパイロットバルブを分離、洗浄、交換する。 ● エアバルブを洗浄、交換する。 ● ポンプが作動していない状態で、一定の排気があるかどうか確認する。 ● クイックエキゾーストダイアフラムを点検、交換する。 ● ボールとシートを点検、洗浄、交換する。
動作はするが脈動が見られる。	<ul style="list-style-type: none"> ● エアが液流経路内に入り込んでいる、エア供給が制限されている。 ● 接液部のボールバルブが詰まっている。 ● ピストンシールが摩耗している。 ● エアモータシャフトのシールが摩耗/劣化している。 ● エアモータシャフトのシール部品が摩耗して/緩んでいる。 ● 液流ピストン/シールが摩耗している。 ● 排気が抑制されている。 ● サージ除去用のエリミネータが正常に動作していない。 	<ul style="list-style-type: none"> ● シールおよびホース接続部を点検する。エア供給を確認する。 ● シート、ボール、ボールケージを取り外して洗浄、点検する。動作が怪しい、または摩耗している場合は交換する。 ● ピストンシールを交換する。必要ならばポンプを分解し、両側のシール コンポーネントをすべて交換する、QE ダイアフラムおよび排気口を確認する。 ● エリミネータが正常に動作しているかどうか確認する。
塗料がホース内に漏れている。 エアがベントプラグから抜けている。	<ul style="list-style-type: none"> ● ベローズシールが破損している。 ● エアモータシャフトのシールに隙間があり、エアが漏れている。 	<ul style="list-style-type: none"> ● ベローズシール(55)を交換する。 ● エアモータシャフトのシール(45)を確認し、必要ならば交換する。

Maple30/3 ポンプ

11. スペアキット

Maple 30/3 スペアキット				
キット No	部品番号	名 称	数 量	備 考
①	250737	フルイドピストンシールキット	1	個々のキットの内容の詳細については、主要パーツリストを確認してください。
②	250779	フルイドセクションオーバーホールキット	1	
③	250618	エアモーターシールキット	1	
④	250628**	コントロールバルブキット	1	
#	0115-010037**	ポペット Assy.	1	ポンプ 2 個付き
#	0115-010015	メインスプール & スリーブバルブキット	1	ポンプ 1 個付き
#	194237	ピストンシール	1	ポンプ 2 個付き
#	192579	ベローズ	1	ポンプ 2 個付き
# : 連続運転ポンプ用の推奨スペアパーツ				

* : シリアル番号 52207 以前のポンプはフルイドピストンシールキット 250608、フルイドセクションオーバーホールキット 250619 が必要になります。

** : シリアル番号 53971 以前のポンプはパイロットスプール組 192765、コントロールバルブキット 250620 が必要になります。

Maple30/3 ポンプ

12. 保守スケジュール

塗装ポンプの寿命（部品交換が必要になるまでの期間）は、主に次の3つの要因で決まります。

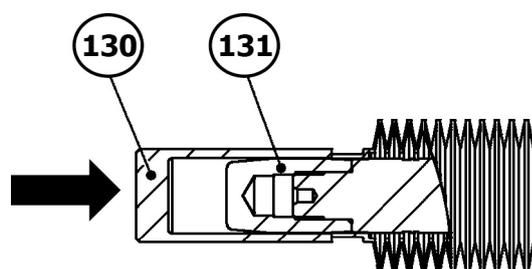
- ① 移送する液体の摩耗性 ② ポンプの動作周期 ③ 必要な吐出圧力

保守スケジュール		
周期	点検内容	
1日ごと	<ul style="list-style-type: none"> ● 液漏れ、エア漏れがないか確認する。 	
1週間ごと	<ul style="list-style-type: none"> ● ポンプが正常に作動しているか点検する。 ● 異常な機械雑音がないか確認する。 ● 圧力の脈動（一定周期ごとに突出する現象）がないか確認する。 	
6ヵ月ごと	<p>ポンプが正常に作動することを、送り側バルブを閉めてポンプが停止することで確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● もしポンプが停止しない場合、ピストンシール及びボール・シートを確認して交換する。 ● メインエアバルブにエア漏れがある場合、エアモータのピストンシール及び排気ダイヤフラムを確認して交換する。 	
12～36ヵ月ごと (エアの質および液体の摩耗性にもよりますが、通常1000万サイクルごと)	<ul style="list-style-type: none"> ● エアピストンシールを交換する。 ● シャフトシールおよびベアリングを交換する。 ● (パイロットエアバルブ/メインエアバルブ部品を検査し、必要に応じ交換する) 	<p>④コントロールバルブ分解検査キット</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ● 塗料 ピストンシールを交換する。 ● ボールおよびシートを交換する ● ベローズを交換する。 	<p>②フルイドセクションの分解整備キット</p>

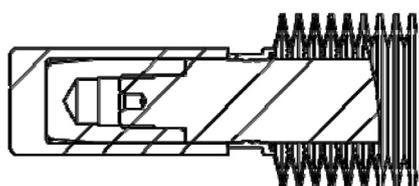
Maple30/3 ポンプ

13. ベローズ交換

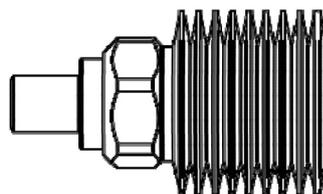
ベローズ交換				
Item No	部品番号	名称	数量	備考
130	502769	ベローズ位置ツール	1	①②
131	502382	ベローズ組み付けツール	1	①②



ピストンシャフトにベローズ位置ツール (130) をねじ込む。



ベローズが溝位置に入るまでベローズ組み付けツール (131) を使って押し込む。



ロックタイト 572 をベローズの先端部に塗布しナットのネジ部が食い込むまでねじ込みます。手でベローズを押し1インチのスパナを使用してベローズの肩までナットをねじ込みます。

メンテナンスシンボル

Ⓝ	ITEM No.
Ⓧ	分解手順 (逆が組付け手順)
PG	潤滑油 / グリース塗布
TS	ネジシール塗布 (シールテープ)

Maple30/3 ポンプ

14. アクセサリー

アクセサリ		
部品番号	名称	備考
192008	1-1/2 ㇿ サニタリーガasket	
192009	1-1/2 ㇿ サニタリークランプ	
502608	シール差し込みツール	シャフトシール用 (9)
502769	ベローズ アッセンブリ ツール	
AGMD-010	Kiuber Isoflex Topas NB 52 (潤滑グリス)	50 ml チューブ
192779	排気チューブアダプター (1 ㇿ NB ホース)	集中排気用
192820	排気チューブアダプター (1-1/4 ㇿ ホース)	集中排気用
192803	1 ㇿ マニホールドプラグ、1 ㇿ	集中排気用
192821	1 ㇿ BSP ヘビーデューティーマフラー (金属製)	
502382	ベローズアッセンブリ 栓	

BINKS®

BINKS® ビンクス
CFT ランスパーク 株式会社

本 社 〒236-0004 神奈川県横浜市金沢区福浦 1-15-5

TEL: 045-785-6378 FAX: 045-785-6517

<http://www.carlisleft.co.jp/>

CARLISLE
FLUID TECHNOLOGIES

©2019 Carlisle Fluid Technologies.

®BINKS is registered trademark of Carlisle Fluid Technologies.

18.03-77-3235-R4.3-J01